

モロッコ王国図書館・書店案内

棚橋 由賀里*

I. はじめに

本稿では、筆者が2022年6月21日～7月30日の40日間、2023年2月3日～2月15日の13日間および2024年2月11日～3月10日の29日間の調査中にまとめたモロッコ王国の図書館・書店情報を紹介する。本稿以前に、[私市2008]や[Hendrickson2008]および[Hendrickson and Adil2013]、東洋文庫のオンラインガイド(2011)などで同国の図書館情報がまとめられている。しかしいずれも出版・作成から10年以上の月日が経過し、状況が変化しているため、更新の必要があるだろう。さらに上記のものではまとめられていない図書館・書店情報も追加していくことで、モロッコ地域研究者の助けになるものと考えられる。ただし本稿では、筆者の研究領域の関係上、特に図書館に関してはアラビア語写本の調査に特化しており、上記書籍・ガイドで紹介された施設をすべてカバーしているわけではないことは予め断っておく。また近年のモロッコでは図書館のインフラ整備や電子化の動きが目覚ましく、今回まとめた情報は数年で風化することも予想される。その際は、本稿で掲載できなかった施設も含め、今後モロッコで調査を行う研究者によって随時更新していただければ幸いである。

II. 図書館情報

モロッコは90日以内であれば無査証で滞在でき¹⁾、その状態で国内図書館の入館および文献調査も可能である。

同国の図書館には、国立のもの、王立のもの、ワクフ・イスラーム省管轄のもの、私立のものがある。いずれの図書館も、8月は1ヶ月間にわたって夏季休業期間となる。また、モロッコの祝日やイスラームの祭日も基本的に休館する。

1. 国立

1) モロッコ王国国立図書館(al-Maktaba al-waṭaniya lil-Mamlaka al-Maghribiya

/ Bibliothèque nationale du royaume du Maroc)

住所: Av. Ibn Khaldoun, Agdal, Rabat (Map A 参照)

電話番号: +212-5372-72300

Email: <bnrm@bnrm.ma> (全体)、<c.specialisees@bnrm.ma> (専門コレクション室²⁾)

URL: <http://www.bnrm.ma> (ただし、サーバー不具合のため頻繁にアクセスできなくなる³⁾)

* 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科・日本学術振興会特別研究員(DC1)

1) ただし、入国時に旅券の有効期間が3ヶ月以上残存している必要がある。

2) 写本資料等を扱う。

3) 2023年7月現在、モロッコ王国国立図書館のウェブサイトにはアクセスできない状況が続いている。本稿で国立図書館のウェブサイトから閲覧できると紹介している電子カタログ類については、筆者がデータを所持している。アクセス不能の状態が今後も続いた場合、筆者のメールアドレス <tnhsykr@gmail.com> にご連絡いただきたい。

開館時間：(開架)月～土 9:00–16:00,

(専門コレクション室)月～木 9:00–12:00 / 13:00–16:00, 金 9:00–13:00

ラバト・サレのトラム 1 番線 (Ligne 1) の国立図書館駅 (Station Bibliothèque Nationale) すぐ。開架エリアはパスポートを預けることで入館できるが、写本データの閲覧・複写申請ができる専門コレクション室 (Espace collections spécialisées) へのアクセスは基本的に博士課程以上に制限されている (仏語または英語で書かれた研究機関の在籍証明書が必要)。何度も利用する場合は利用者カードを作成するのが便利である。研究者 (Chercheur) の枠組みでカードを作成すると館内ほぼ全てのエリアに出入り可能となる。上記ウェブサイトの Inscription ページから利用者登録を行った上で、館内のオフィスに研究機関の在籍証明書・顔写真 (後述の他の図書館でも必要となる場合ため、日本国内で証明写真を撮っておくとよい)・手数料 100MAD (モロッコ・ディルハム) を持参するとカードが発行され、1年間有効である。カード更新の際には再度在籍証明書と 100MAD が必要となる。また、館内には鞆や袋状の物品を持ち込めないためクロークに預ける必要がある。

次に、写本の閲覧・複写申請の手順について説明する。写本カタログは専門コレクション室に置かれているほか、PDF化されており上記ウェブサイトから閲覧可能である。2024年2月現在、専門コレクション室のコンピューターのブラウザから、イントラネット上の OPAC および写本ビューワーにアクセスできる。OPAC で目当ての写本の番号を検索したのち、ビューワーの検索フィールドにから写本番号を入力すると、電子化された写本が閲覧可能となる (資料の状態が悪く電子化できていないものもあり、それらは閲覧・複写ともに不可)。複写したい場合は、申請用紙表面に氏名・所属機関・監督者名・連絡先等を、裏面に写本タイトル・著者・写本番号・ページ番号 (写本自体に書き込まれたページ番号ではなくビューワー上での数字) を記入したものを 2 部作成して提出し、1 ページあたり 2MAD を支払う。初回のみカード作成と別に在籍証明書も提出する必要がある。申請用紙 1 枚で複数写本の複写申請が可能である。複写申請の数量にもよるが、おおむね 1～3 営業日で写本の電子データがメール送付されてくる。

2. 王立

2) ハサニーヤ図書館 (al-Khizāna al-Ḥasanīya / Bibliothèque Royale)

住所：Palais Royal de Rabat (Map A 参照)

電話番号：+212-5377-63590

開館時間：月～金 9:00–16:00

モロッコ王宮敷地内に所在。最寄り駅は ONCF (モロッコ国鉄) ラバト・ヴィル (Rabat Ville) 駅またはトラム 1 番線ムハンマド 5 世駅 (Station Mohammed V Gare de Rabat) である。駅からは目抜き通りであるムハンマド 5 世通り (Av. Mohamed V) を南下していくと、スナナ・モスクのミナレットと王宮の城壁が見えてくる。そのままムレイ・ハサン通り (Av. Moulay Hassan) を横断し、城壁を右手にヤアクーブ・マンスール通り (Av. Yacoub Al-Mansour) に入る。3 つ目の門が訪問者用の通用門であり、門衛に図書館へ行きたい旨を伝えると、通用門すぐの事務所に通される。事務所でパスポートと在籍証明書を提示し、許可を得る。門から入った道を真っ直ぐ進んで最初の角を右に曲がり、しばらく進むと右手に図書館がある。

入館の際は、パスポート、所属機関からの仏語または英語の紹介状 (学科長クラスのもの) が望ま

しい)が必要である。顔写真と在籍証明書を提出し、申請書に記入することで利用者カードの作成も可能(2024年2月現在無料)で、3年間有効となる。

館内のカタログ⁴⁾から目当ての写本を探し、番号を伝えると館内PCで閲覧可能(資料の状態が悪く電子化できていないものもあり、それらは閲覧・複写ともに不可)。電子データのコピーを受領できるのは各写本の前半部分のみである⁵⁾。コピーを入手したい場合は、申請用紙に写本の番号・タイトル・申請者氏名・所属機関・連絡先等を記入して職員に提出すると1~2営業日ほどでデータが送信されてくる。

3. ワクフ・イスラーム省管轄

歴史あるマドラサや教育機関を前身とする図書館は、ワクフ・イスラーム省(Wizāra al-awqāf wa al-shu'ūn al-islāmīya / Ministère des Habous et des Affaires Islamiques)が管轄している。このような図書館での文献調査や複写申請を行う場合、ワクフ・イスラーム省の許可を得る必要がある。ワクフ・イスラーム省への申請には、以下のものが必要となる(2022年6月現在)。

- ・ワクフ・イスラーム大臣宛、自署入りの仏語で書かれた申請書(どの図書館で調査・複写を行いたい記入)
- ・大学発行の紹介状(学科長クラスのもの、仏語または英語)
- ・パスポートのコピー
- ・学生証・職員証のコピー
- ・英語の在籍証明書

これらをワクフ・イスラーム省に直接持参して提出することになる。同省の建物はラバト王宮内にあり、前項で言及したムーレイ・ハサン通りに面したスフラー門(Bāb al-sufarā')から入るのが近い(Map A 参照)。前項と建物等は異なるが、門衛にワクフ・イスラーム省で申請を行いたい旨を伝え、パスポートと上記提出書類を提示すれば入館できる。1~3営業日程度で許可の電話またはメールが来る⁶⁾。許可を得た後の入館手続きの流れは図書館ごとに異なるため、以下の各館紹介に示す。

3) カラウイーーン図書館(Khizāna al-Qarawīyīn / Bibliothèque Qaraouiyyine)

住所: Place Seffarine BP 790, Fès (Map B 参照)

Email: <bibquaraouyine@yahoo.fr>

開館時間: 月~金 9:00-16:00

古都フェズの旧市街、サファリーン広場に面するカラウイーーン・モスクに併設されている。

- 4) 紙媒体で出版されているカタログは学問分野ごとにまとめられている。ただし2024年2月現在、すべての蔵書を横断し、著者名・タイトル・写本番号のみを簡潔にまとめた総合的な電子カタログが作成されており、館内PCで閲覧できるようになっている。
- 5) 撮影は禁止だが、手書きまたはWord等の文書作成ツールで全編を書き写すことは問題ないようである。その場で写す場合には、収蔵されている写本の大半を占めるマグリビー書体にあらかじめ慣れておく必要がある。
- 6) モロッコは縁故を重視する社会である。もしも現地の政府関係者や大学関係者に信頼できる知人がいるのであれば、彼らを経由して申請する方が直接持参するよりもスムーズに手続きできる場合がある。また、ワクフ・イスラーム省に限らないことであるが、各種申請手続きが1日で終わるとは限らないため、訪問先ごとに平日数日ぶんの余裕を見ておく必要がある。

ワクフ・イスラーム省から図書館へは許可が下りた時点で情報が伝わっているため、門衛に史料調査に訪れた旨を告げてパスポートを見せれば入館できる。

写本のカタログは1) モロッコ王国国立図書館のホームページから PDF 版を閲覧・ダウンロードできる。訪問前に複写したい写本の著者・タイトル・写本番号をリストアップしておくのが望ましい。申請用紙に写本情報と申請者情報を記入し提出すると、その場で電子データを CD-R へコピーして渡してもらえる。CD-R 代として 5MAD 支払う必要があるが、電子データには料金がかからない。

4) ベン・ユーセフ図書館 (**Khizāna Ibn Yūsuf / Bibliothèque Ben Youssef**)

マラケシュのベン・ユーセフ図書館で写本の複写を行うには、3) カラウィーイーン図書館とは異なり、まずワクフ・イスラーム省のマラケシュ周辺地域の出先機関を訪問する必要がある。当該機関はマラケシュ旧市街の外側にあり、基本情報は以下のとおりである。

施設名: Markaz al-tawthīq wa al-anshīta al-thaqāfiya Marrākush

/ Complexe culturel Mohamed 6 des habous

住所: Complexe Administratif et Culturel des Habous, Bāb Ighlī, Marrakech (Map C 参照)

電話番号: +212-5243-00552

開館時間: 月～金 9:00–16:00

午前中に訪れるのが望ましい。ここでパスポート、紹介状、在籍証明書を提示し、ワクフ・イスラーム省から許可が下りている旨を告げる。承諾されるとベン・ユーセフ図書館に訪問する時間(このあとすぐか、別日の午前/午後か)を決めることになる。職員がベン・ユーセフ図書館に來訪日時を連絡するので、そのとおりの時間に向かう。

ベン・ユーセフ図書館の基本情報は以下のとおりである。

住所: Place de la Kissariat Ben Youssef, Marrakech (Map C 参照)

電話番号: +212-5243-01412

開館時間: 月～金 9:00–16:00

ジャマ・エル・フナ広場からマラケシュの旧市街を 10 分ほど歩いた場所にある。

ベン・ユーセフ図書館の写本カタログも 1) モロッコ王国国立図書館のホームページで PDF 化されている。2022年6月現在、ベン・ユーセフ図書館では写本の電子化が行われていない。目当ての写本の番号を伝えれば、現物を閲覧室に持ってきてもらうことができる。撮影は許可されているため(フラッシュ不可)、基本的には写真を撮ることによってデータを入手することになる(無料)。目当ての写本が大部の場合はデジタルカメラ等を持参するのが良いだろう。

4. 私立

5) スピーヒー図書館 (**al-Khizāna al-Ṣubīhiya / Bibliothèque Sbihi**)

住所: Place des Martyrs, Bab Bouhaja, Salé (Map A 参照)

電話番号: +212-5378-85324 / +212-8083-20144

Email: <bibliothequesbihi@gmail.com>

URL: <<http://www.bibliothequesbihi.ma/>>

開館時間: 月～土 9:00–16:00

サレの市街地に位置する。ラバト・サレトラムのバーブ・ラムリッサ駅(1番線、2番線ともに停車)からレジスタンス通りを北西に徒歩5分ほどの場所にある。

利用するために必要な書類は以下のとおりである。

- ・パスポートのコピー
- ・在籍証明書
- ・論文執筆のために調査したい旨の申請書(アラビア語またはフランス語)
- ・顔写真2枚

スピーヒー図書館の写本カタログは、館内のほかに1)モロッコ王国国立図書館の専門コレクション室でも閲覧できる。写本の多くは電子化されているが、複写や撮影は許可されていない。そのため、スタッフに目当ての写本の電子データを伝えて館内PCに表示してもらい、その内容を書き写す必要がある(PCの持ち込みは許可されているので、Word等の文書作成ツールを使うのが良いだろう)。

6) ザーウィヤ・ナースィリーヤ文書館 (Khizāna al-zāwiya al-Nāṣiriya

/ Bibliothèque de la zaouïa Naciria)

住所: Tamegroute (Map D 参照)

開館時間: 月～金 9:00–16:00

モロッコ南部の町タムグルートに位置する、16世紀創設のザーウィヤ(スーフィーの修道場)であるザーウィヤ・ナースィリーヤに附属する文書館である。かつてはサハラ交易で栄え、17世紀にはモロッコ南部における学問の中心地の1つであった。現在でも4000冊以上の写本が所蔵されている。観光地として入場と見学が可能であり⁷⁾、美しい装飾写本を目にすることができる。

モロッコ主要都市からのタムグルートへのアクセスは、大きく2とおりある。1つはカサブランカから週に数回出ている航空便でザゴラ空港へ向かい(所要時間1時間30分ほど)、そこからタクシーを使う(乗車時間30分ほど)というものである。もう1つは民営バスを使うというもので、マラケシュから民営バスがほぼ毎日走っている(所要時間7時間30分ほど)。

カタログは館内で閲覧可能なほか、次節で紹介する書店11)において6巻組420MADで販売されている(2024年2月現在)。

写本は電子化されておらず、データが欲しい場合には撮影許可を得る必要がある。撮影許可に関しては、ザゴラにあるワクフ・イスラーム省の支部で申請できる⁸⁾。ザゴラ支部の基本情報は以下のとおりである。

7) 入場料は無料であるが、ガイドによる解説の後に寄付を求められる。

8) ザーウィヤ・ナースィリーヤ文書館をワクフ・イスラーム省管轄に含めるか悩んだが、同省本部への申請が不要だったため私立図書館の枠組みで立項した(ワクフ・イスラーム省管轄の文書館と同じ方式でも撮影許可を得られる可能性はあるが、未確認である)。

住所：86 Bd. Mohamed 5, Zagora (Map D 参照)

電話番号：+212-5248-48067

Email：<deprov.zagora@mhai.gov.ma>

開館時間：月～金 9:00–16:00

申請に必要な書類は以下のとおりである(2024年3月現在)。

- ・ワクフ・イスラーム大臣宛、自署入りの仏語またはアラビア語で書かれた申請書(撮影したい写本の番号を記入)
- ・大学発行の紹介状(学科長クラスのもの、仏語またはアラビア語)
- ・パスポートのコピー

このほか、撮影したい写本の点数につき1枚、申請書(支部にて配布)に連絡先等を記入する必要がある。申請後1～数営業日で許可の電話が来たら、ザーウィヤ・ナースィリーヤ文書館で撮影が可能となる。

III. 書店情報

モロッコの都市部には多数の書店があるが、本稿では特にモロッコの人文系研究者が研究書を購入するのに便利な書店に絞って紹介する。

1. ラバト

7) **Dār al-amān / Librairie Dar Al Amane**

住所：Rue Al Mamouniya, Rabat (Map A 参照)

電話番号：+212-5377-23276

営業時間：9:15–12:30 / 15:00–20:00

最寄りにはラバト・サレトラム2番線のメディナ・ラバト駅(Station Médina Rabat)だが、1番線のラバト・ヴィル駅からも徒歩10分弱の距離である。取り扱う書籍はほぼアラビア語のみであり、イスラーム関連の学術書が充実している。在庫検索システムがあり、スタッフに頼んで調べてもらうことができる。

8) **Maktaba alfiya / Librairie Alfia**

住所：285 Av. Mohammed V, Rabat (Map A 参照)

電話番号：+212-5373-67800

URL：<<https://librairiealfia.com/>>

営業時間：月～木・土 10:00–20:00, 金 10:00–13:00 / 15:00–20:00, 日 16:00–20:00

ラバト・ヴィル駅近くにある、学術書・一般書を幅広く扱う大型書店。1階がアラビア語、2階がフランス語書籍である。在庫検索システムがあり、スタッフに頼んで調べてもらうことができる。

9) **Maktaba al-ṭālib / Bibliothèque étudiant**

住所: 207 Igza Av. Mohamad V, Rabat (Map A 参照)

電話番号: +212-6714-69379

営業時間: 月～金⁹⁾

最寄りにはラバト・サレトラム2番線のメディナ・ラバト駅であり、ムハンマド5世通り沿いにメディナ(旧市街)へ入ってしばらく歩いた先にある。歴史書・宗教書を中心にアラビア語書籍を揃えており、古書も豊富である。

10) **Maktaba ‘ālam al-fikr**

住所: 3 Av. Allal Ben Abdullah, Rabat (Map A 参照)

電話番号: +212-5377-25599

営業時間: 月～土 9:00–20:00

最寄りにはラバト・サレトラム2番線のメディナ・ラバト駅。ハサン2世通り(Av. Hassan II)を東へ進み、最初の環状交差点でアッラール・ベン・アブドゥッラー通り(Av. Allal Ben Abdullah)に入って少し歩いた場所にある。アラビア語で書かれた学術書を幅広く揃えている。

11) **Maktaba al-awqāf**

住所: 6 Rue Beirut, Place Mamounia, Rabat (Map A 参照)

電話番号: +212-6646-02138

営業時間: 不明¹⁰⁾

ラバト・サレトラム2番線のメディナ・ラバト駅から、ベイルート通り(Rue Beirut)を南下したところにある。店名を掲げた電光掲示板があるためわかりやすい。この書店はワクフ・イスラーム省が運営しており、同省の出版物を取り扱っている。歴史書や同省管轄の文書館のカタログを購入することができる。ワクフ・イスラーム省のウェブサイト(2012)によれば、モロッコの各主要都市に同様の書店が存在するようである。

2. カサブランカ

12) **Dār al-thaqāfa / Dar Attakafa**

住所: 32–34 Bd. Victor Hugo Casablanca (Map E 参照)

電話番号: +212-5223-07644 / +212-5223-02375

Email: <contact@darattakafa.com>

URL: <https://www.darattakafa.com/>

営業時間: 月～土 8:30–19:30, 日曜休業

主要鉄道駅やトラム駅からはやや距離があるため、タクシーで王宮(al-Qaṣr al-malikī / Palais Royal)を行き先に告げて向かうのが良い。書籍はアラビア語が中心で、イスラーム学関連が充実

9) 詳しい時間帯の確認を失念してしまった。2024年2月に訪れた際は、18時頃にはまだ営業していた。

10) 2024年2月に訪れた際は、午前中は営業しておらず、平日の15時頃に営業していた。

している。長期滞在の場合は、店のスタッフとコミュニケーションを十分に取れば店頭にはない本でも取り寄せてもらえる場合がある。また、周辺のハブブス地区には書店が多く集まっている。

IV. 書籍の輸送方法

書籍は各地の郵便局から日本へ発送することができ、1週間～1ヶ月で到着する。スタッフが外国への発送に慣れている各都市の中心的な局に、混雑を避けて午前中に向かうのがスムーズである。箱も郵便局で購入できる。輸送料金は重さや箱のサイズによっても異なるが、10kgを超える範囲ではおおむね140MAD/kg程度である(2024年2月現在)。

謝辞

本調査に関しては、モロッコ研究者の皆様、現地の図書館や書店関係者の皆様、現地のホストファミリーや友人たちにご多大のご助力を賜りました。ここに深く感謝申し上げます。

※本調査はJSPS 科研費JP20J22412 および松下幸之助記念志財団23-G23の助成を受けたものです。

参考文献

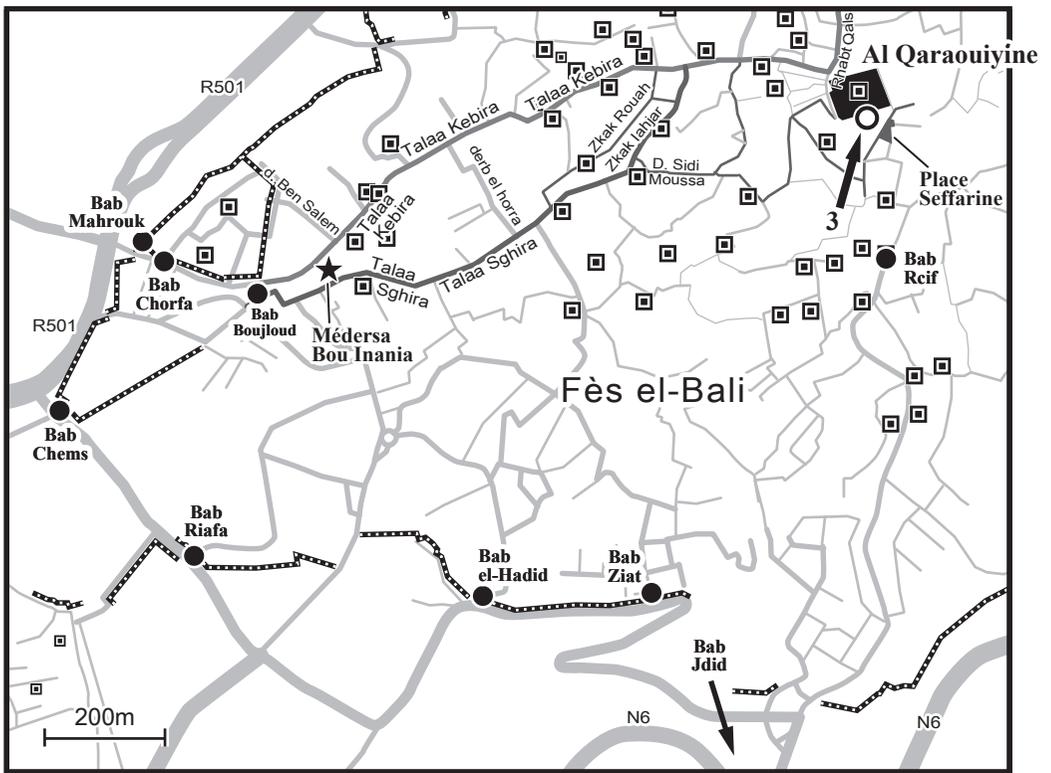
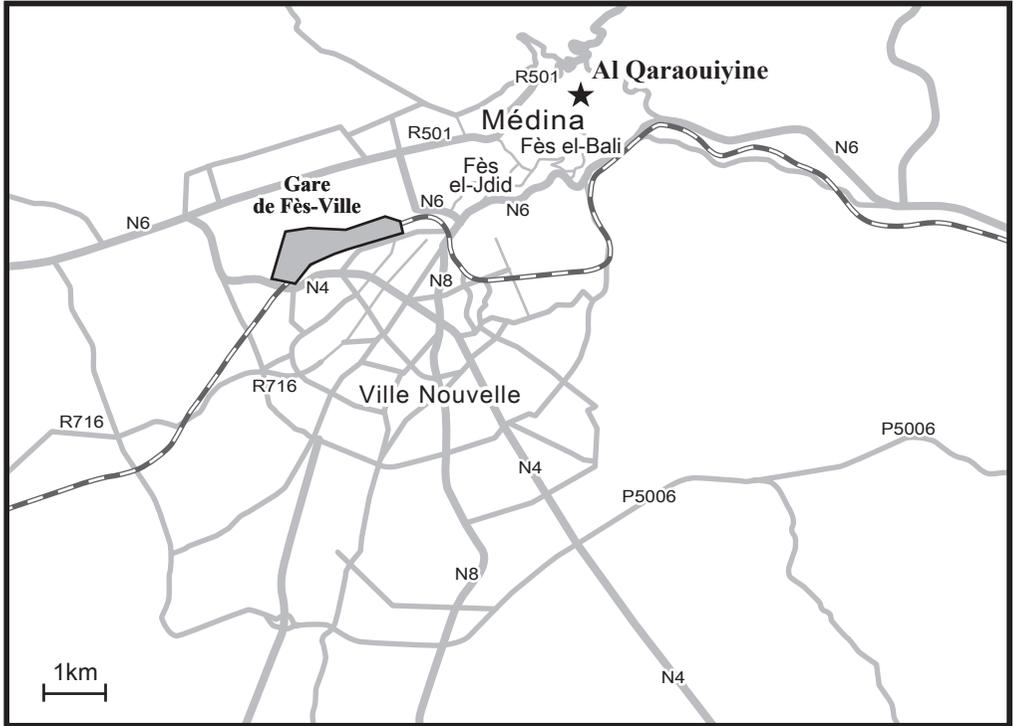
私市正年 2008 「モロッコ」 小杉泰・林佳世子・東長靖(編) 『イスラーム世界研究マニュアル』 名古屋大学出版会, pp. 549–551.

公益財団法人東洋文庫研究部イスラーム地域研究資料室 2011 「モロッコ王国の文書館・研究所」 <<http://tbias.jp/guide/morocco>> (2023年7月27日閲覧).

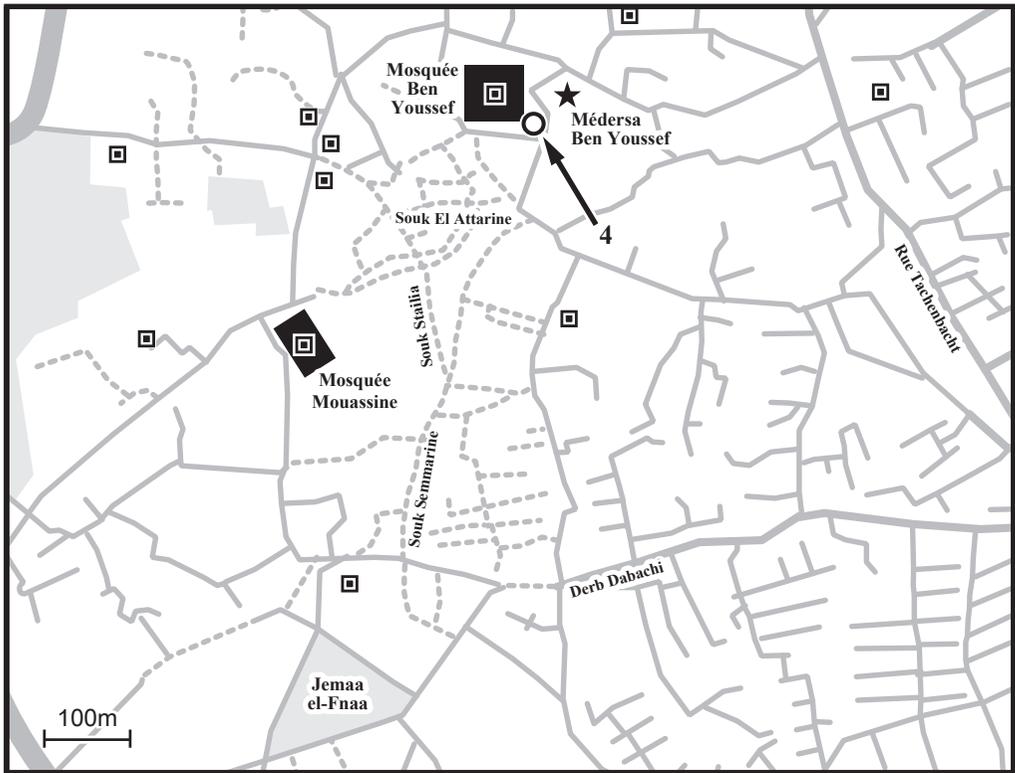
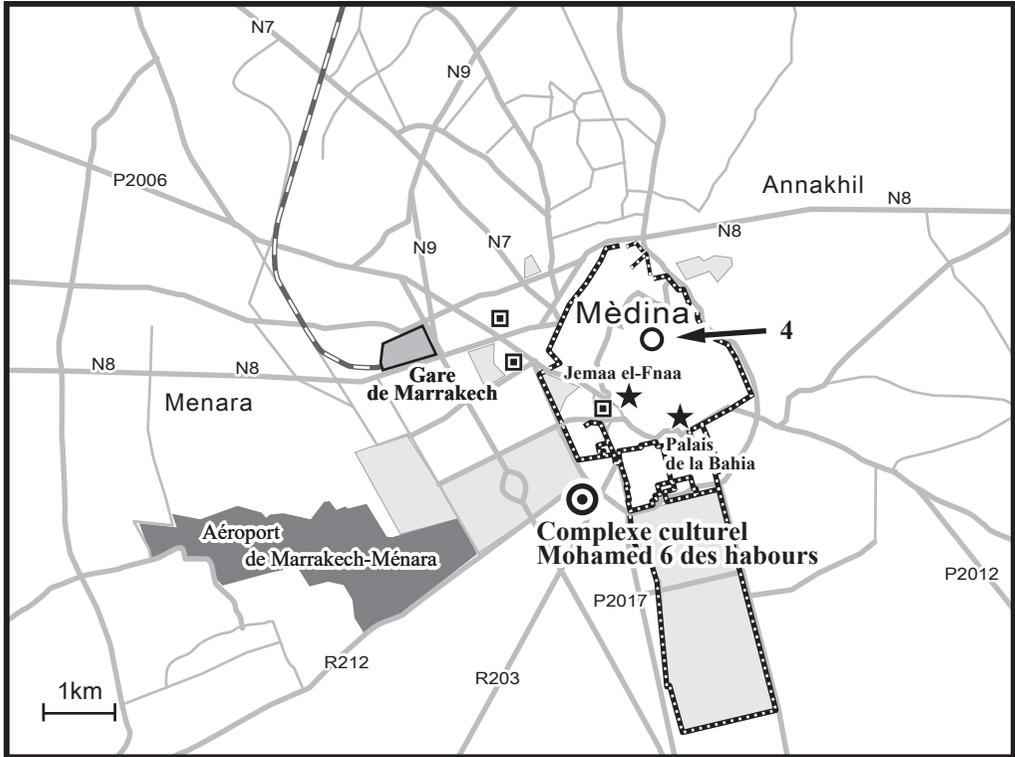
モロッコ王国ワクフ・イスラーム省ホームページ (2012年9月5日更新) “Maktabāt al-awqāf: nuqat al-bay” <<https://www.habous.gov.ma/مكتبات-الأوقاف.html>> (2024年3月26日閲覧).

Hendrickson, Jocelyn. 2008. “A Guide to Arabic Manuscript Libraries in Morocco, with Notes on Tunisia, Algeria, Egypt, and Spain,” *MELA Notes: Journal of Middle Eastern Librarianship* 81, pp. 15–88.

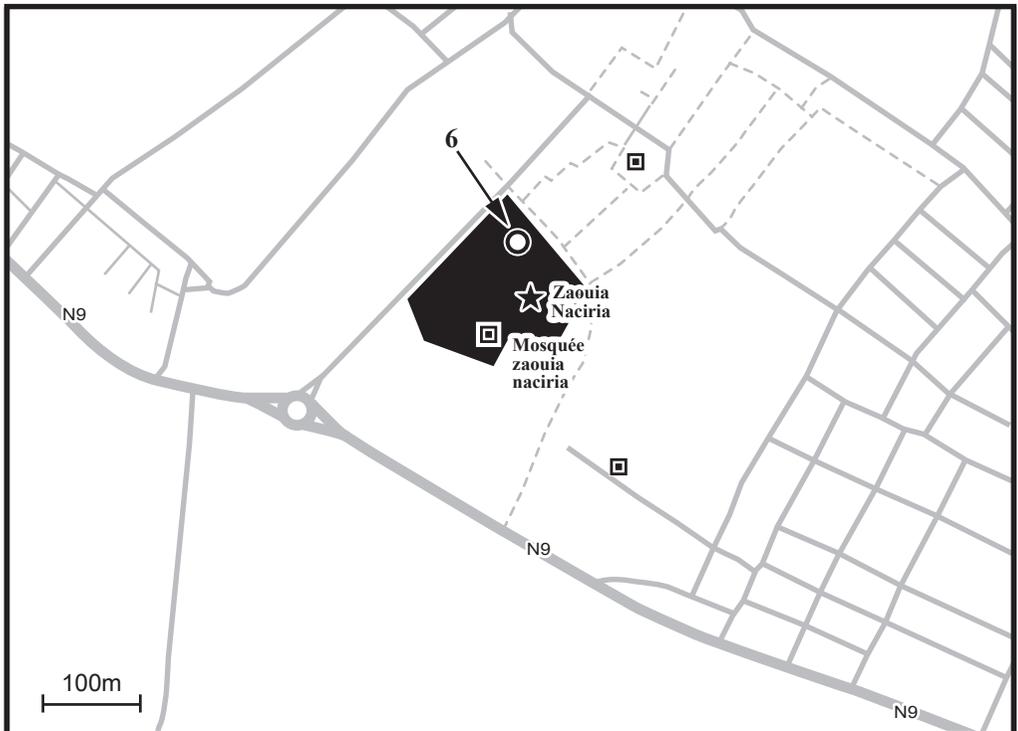
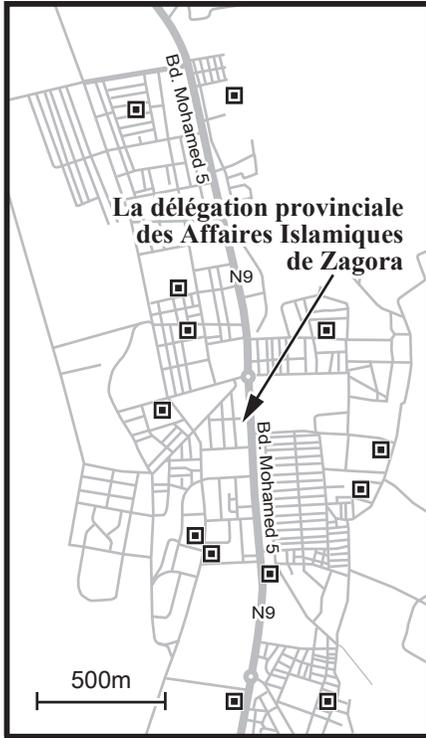
Hendrickson, Jocelyn and Sabahat Adil. 2013. “A Guide to Arabic Manuscript Libraries in Morocco: Further Developments,” *MELA Notes: Journal of Middle Eastern Librarianship* 86, pp. 1–19.



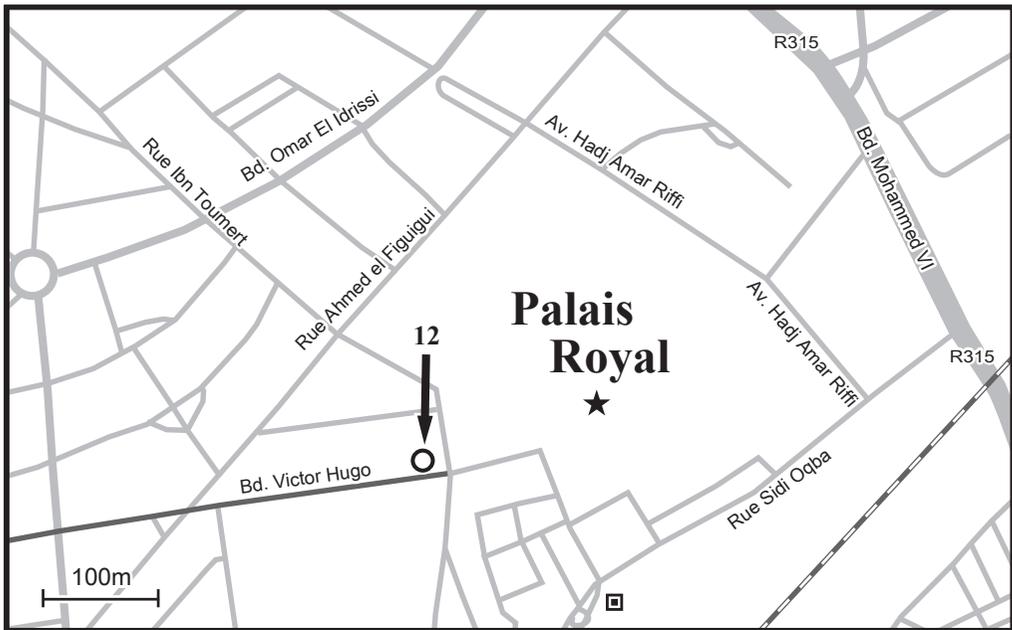
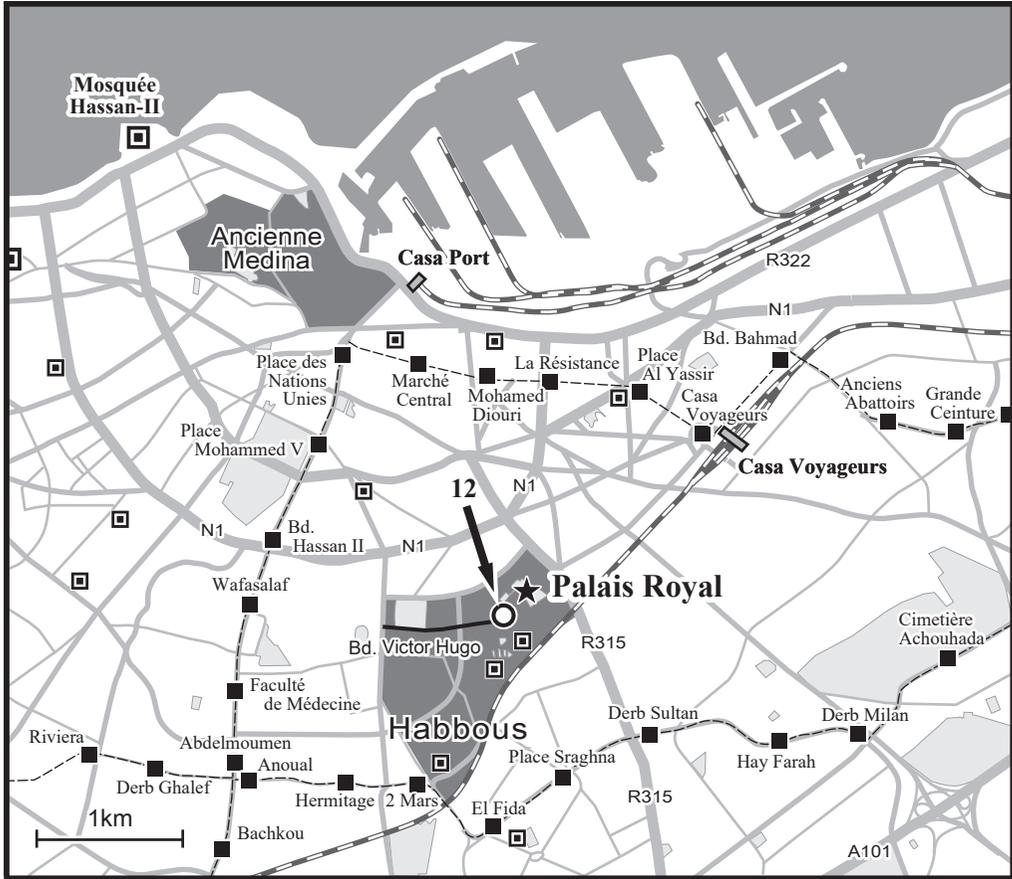
Map B-a, b: Fez / Fes / Fès (3)



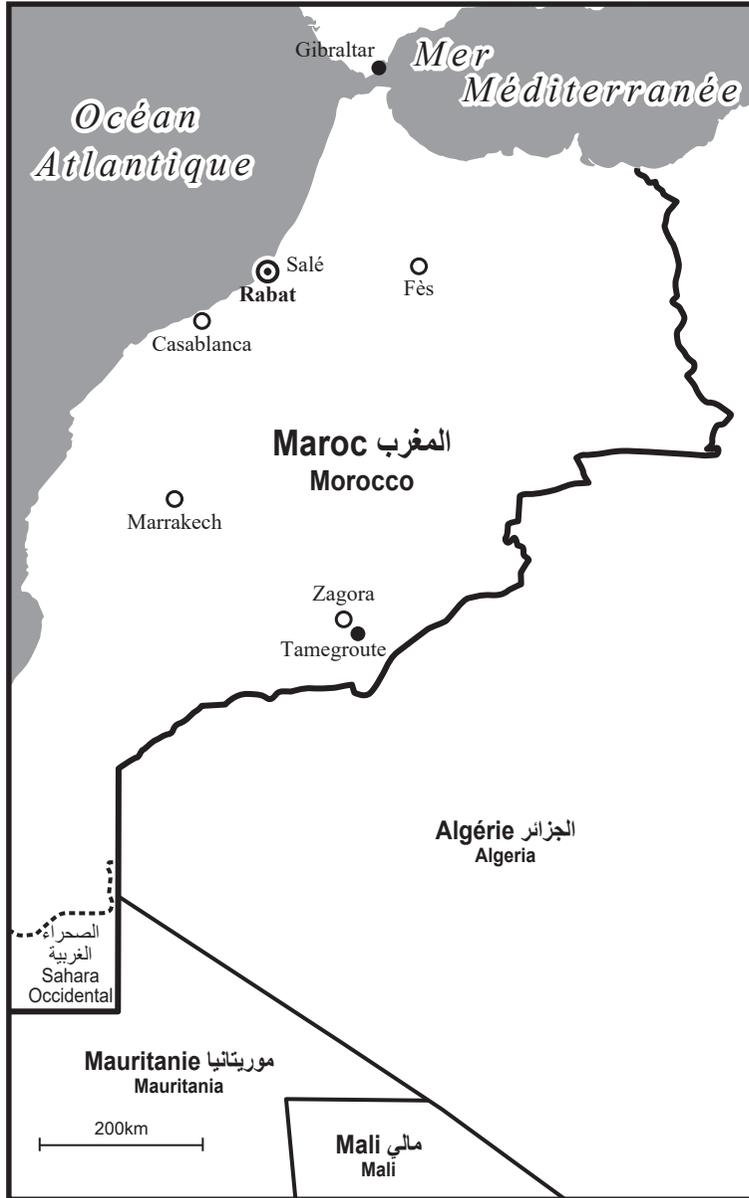
Map C-a, b: Marrakesh / Marrakech (4)



Map D-a: Zagora; D-b: Zagora & Tamegroute; D-c: Tamegroute (6)



Map E-a, b: Casablanca (12)



Map F: Morocco / Maroc